

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

## 「永代経のご案内」

日	朝10時〜	昼2時〜	夜7時〜
8日 (火)	仏説 阿弥陀経 (現代語訳) 法話一席	仏説 無量寿経 四十八願 法話二席	仏説 観無量寿経 法話一席

法話 (朝) 西光寺若院 内嶋淳浩

(昼・夜)

福井市教應寺住職

本願寺布教使

奥田 順誓師です。

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますます  
すぐ清祥のことと慶賀に存じます。

浄土真宗における「永代経」とは「永代読  
経」の略であり、「未来永代、末永くお釈迦さ  
まの説かれた真実の教えであるお経が読み  
続けられ、そのお経が聞き続けられ、そのみ  
教えに救済され続けられる」ことを願って勤  
まる法要です。

自分に先立ち浄土に還られた方(先達・先

# 永代経にお参りください。

## 6月8日(火) 10時・2時・7時

アサ

ヒル

ヨル

祖)を偲んで、先達が聞き大事にしてこられた経(み教え)を、今を生きる私もいただこう、そして未来永代子々孫々にそのお経(教)を伝えようという願いのもと勤まるわけです。

先達・先祖をご縁にするというかたちをとりますので、「永代経は先祖への永代の追善供養」ととらえられがちですが、浄土真宗における「永代経」は、「先達・先祖を御縁として私がお経(み教え)をいただき、未来永代に伝える」ということが重要です。つまり、「阿弥陀さまが(※1)五劫思惟して完成してくださったご本願は、ひとえに私のためであったのだ。」といただくことが肝要かと思えます。どうぞこのご縁に、ご家族お友達を誘ってお参りください。

ある先生が、若いもんを寺参りさせる画期的な方法を話しておられました。それは、「私と一緒に寺に参ったら、お小遣い1万円あげるよ。」と言うのだそうです。冗談みたいな話ですが、そうまでしないと、若い方は浄土真宗のみ教えからどんどん離れてしまいます。蓮如聖人も「仏法は聴聞にきはま

る」と教えてくださっています。どんなみ教えでも、聴いていただかなかつたら、若い方に伝わってはいきません。どうかこの真実のみ教えが永代に続いていくことを心より念じています。

※1 五劫思惟……劫とは時間の単位で、四十里四方のとてつもない大きな岩を、百年に一度天から降りてくる天女が、その羽衣でさつと岩をなで、岩が完全になくなるまでの時間が一劫なのだそうです。つまり、無量の時間お考えになった末にご本願を立てられたということですね。

## 「皆さんは幸せですか?……」

いきなり変な質問だと思われるかもしれませんが、でも、本当のところ、皆さんはいま幸せだと心から言えますか?お金がない、ほしい物が手に入らない、仕事がつらい、家族とうまくいっていない、病気をかかえている等々、自分は幸せだと思っていない人の方が多いのではないでしょうか。

この不況でみんな必死に働いているときに、おまえだけ暢気な話だと思われるかもしれ

れませんが、私（若院）は6月に1週間ブータンに行つて参ります。以前NHKで五木寛之さんの『21世紀仏教の旅』という番組がありました。ご覧になった方もいらっしゃると思います。この3回目がブータンでした。ヒマラヤのふもとにあり、チベット仏教の影響を色濃く残しているこの国では、GNP（国民総生産）で国の豊かさを測るのではなく、GNH（国民総幸福）という指針をもつて、国の豊かさとしています。ほとんどの人が農業に従事していて、平均所得は日本の50分の1しかありません。でも、みんな柔和な顔で「私はいまとても幸せです。」と云うのです。ブータンは仏教を国教（国の宗教）と定めています。人々は「生まれ変わつても仏教徒になりたい。」と言います。「欲望にはきりがありません。だから考えません。」「死ぬことは怖くありません。生まれた生きものは皆死ぬからです。」今の日本からは消えつつある仏法を、小さい頃から聴いてきた人だからこそ言える言葉ではないでしょうか。

ブータン研究所のカルマ・ウラさんは、1年間研究のために来日していたことがありますが。そのときの日本の印象は、「都市をみてもコンクリートで規制され、川もコンクリートで固められている。あまりにも自然を規制しているのではないか」「経済的には豊かなのに、日本人はみんな難しい顔をして

忙しそうに歩いている」というものだったそうです。私たちは経済の発展と引きかえに、何か大切なものを失ってきたのではないのでしょうか。

私はブータンで、自然や人々とふれあい、私たちがなくしてきたものを見つけてきたと思います。また、そのお話も門信徒の皆さまにできたらいいなと思っています。

### 「吉崎別院親鸞聖人

### 750回大遠忌法要厳修さる」



かねてよりお知らせしていました通り、去る5月9日（日）に標題の吉崎別院での大遠忌法要がお勤まりになりました。おかげさまで素晴らしい好天に恵まれ、お稚児さんをはじめ、すべての法要が滞りなく執り行われました。お稚児さんに出てくださったご門徒さま、お参りくださったご門徒さま、本堂に有り難うございました。また、満堂まんどうのため

に本堂に入ることができなかつたご門徒さま、誠に申し訳ありませんでした。連絡不足だったと反省しています。しかし、このように多くのご門徒さまがお参りくださったこと、誠に有り難いことだと思っています。ご門主さまもたいそう喜んでおられたそうです。

下の写真は前方がご門主さま。私も写っています。 ↓ が私です。

### 「来年は大遠忌に行こう！」

来年本願寺で厳修される親鸞聖人750回大遠忌の団体参拝の日程を再掲載しておきます。ぜひご一緒にお参りしましょう！

- 第1回（募集人員50名）  
平成23年6月14日（火）～15日（水）  
宿泊 有馬グランドホテル（有馬温泉）  
15日 9時30分 参拝者のつどい  
10時00分 ご法要
- 第2回（募集人員200名）  
平成23年9月12日（月）～13日（火）  
詳細未定

それでは、今回はこの辺で。合掌